

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科		
科目名称	地学の世界					授業形態	講義		
科目コード	131520	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	伊東 嘉宏								ICT活 用
授業概要	<p>「地学の基礎」で学んだ4つの領域の内容に即して地球科学的な基礎知識と理解をさらにマイクロやマクロの視点から深めることを目指しています。大地に関わる問題は、皆さんの今後の学修にも関連して重要であると考えています。この意味からも、知識だけでなく、役に立つ見方や考え方についての理解も加味した内容となるようにしたいと考えています。</p>								
関連する科目	「地学の基礎」を受講していることが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>講義を主体としますが、授業内容の資料配布および可能な範囲で、映像資料や標本などの具体物の提示、資料に基づいた操作・作業を取り入れます。また、これらに関連する質疑応答により、授業内容の理解に努めます。また、適宜、課題を準備して、学生間での検討の時間を設定するなど深い学びとなることを目指します。授業の内容により、学生が自ら気づきや考えを発言したり、学生相互の能動的な活動となるように努めます。</p>								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション（高師小僧に学ぶ） 高師小僧（化石？ 鉱物？）から地球の表層でのできごと、この授業の概要について								
授業計画 【第2回】	第2回 恒星としての太陽、恒星までの距離、恒星の明るさ 太陽活動の理解を通して様々な恒星の情報について								
授業計画 【第3回】	第3回 恒星のスペクトル、HR図と恒星の分類 恒星の情報から、恒星の分類と理解について								
授業計画 【第4回】	第4回 恒星の進化、宇宙 恒星の誕生・進化・消滅と元素の形成、宇宙の姿について								
授業計画 【第5回】	第5回 プレートテクトニクスとブルームテクトニクス プレートテクトニクスの原動力について								
授業計画 【第6回】	第6回 堆積物と地層 地層の広がりや構造、成り立ち、構成する岩石、鉱物について								
授業計画 【第7回】	第7回 マグマと火山 多様なマグマの形成から造岩鉱物の形成・火成岩の形成について								
授業計画 【第8回】	第8回 日本周辺の地学 4つのプレートで構成される日本の現状と、過去の大地の記録（構造帯）について								
授業計画 【第9回】	第9回 地球の熱収支 太陽放射と地球放射の現状とバランス、大気や海洋との関係について								
授業計画 【第10回】	第10回 大気の大循環による熱エネルギーの低緯度から高緯度への移動現象について								
授業計画 【第11回】	第11回 大気と海洋の相互作用と、日本周辺の天気（主に秋～春） 海水が保持する熱エネルギーは、海流とともに移動すること、日本周辺の季節風や気象現象について								

授業計画【第12回】	第12回 古生代の生物の多様化 古生代の生物の多様化と生息域の拡大、環境への適応について
授業計画【第13回】	第13回 中生代と白亜紀末の大量絶滅事変 P/T境界・大量絶滅後のワニ類の繁栄と超大陸分裂に伴う多様な恐竜の繁栄について
授業計画【第14回】	第14回 新生代・寒冷化する地球と人類 大陸の分裂と移動、新生代の南極の配置と寒冷化、生物（特に人類）の移動と繁栄について
授業計画【第15回】	第15回 人間と地球・環境 人類の爆発的な人口増と、地球環境の変化の諸相について
授業の到達目標	1. 4つの領域の個々の事象・現象について理解している。【知識・理解】 2. 4つの領域の個々の事象・現象について、用語を用いて説明できる。【コミュニケーション力】 3. 4つの領域の個々の事象・現象について、周囲の事柄と結び付け関心をもって関連づけることができる。【生涯学習力】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 ・シラバスを参考にして、次回の授業内容を把握しておくこと。(専門用語についても同様) (約30分)
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 ・授業後は、その都度、配布資料とノートとを整理し、授業内容の確認と復習をしておくこと。(約30分) ・4つの領域では、各1回小テストまたはレポートを実施予定としているので、その内容を復習しておくこと。(約1時間)
課題に対するフィードバック	・小テストまたはレポートは、返却および解説をする。 ・定期試験は、試験後に解説する。
評価方法・基準	・評価は、主に定期テストに基づいて評価する。 ・小テストやレポートについても評価の対象とする。
テキスト	特に、指定はしません。上の参考書を興味を持って読むことを推奨する。
参考書	・「日本列島の誕生」平朝彦著(岩波書店:岩波新書) ・ビジュアル版「46億年の地球史」田近英一著(三笠書房:知的生きかた文庫) ・「大地の五億年 せめぎあう土と生き物たち」藤井一至著(山と溪谷社:ヤマケイ新書) ・「日本の気候変動5000万年史」佐野貴司・矢部淳・齋藤めぐみ著(講談社:ブルーバックス) ・「新しい高校地学の教科書」杵島正洋・松本直記・佐巻健男著(講談社:ブルーバックス)
備考	